

報道関係者各位

2024年4月30日

株式会社シーディーネットワークス・ジャパン



CDNetworks、最新 AI 搭載クラウドセキュリティ 2.0 提供開始 WAAP ソリューションをアップグレード



APAC をリードするエッジサービスおよびネットワークプロバイダである CDNetworks は、2024 年 1 月 31 日（SGT / シンガポール現地時間）、クラウドセキュリティ 2.0 プラットフォームの提供開始と、WAAP ソリューションのアップグレードを発表いたしました。

このアップグレードにより、プラットフォームの適応型保護機能とユーザビリティが強化されました。高まり続けるワンストップ管理へのビジネス要件とニーズを満たし、無数のビジネスシナリオ向けにカスタマイズされた保護をご提供します。これにより、顧客はますます深刻化する Web セキュリティの脅威に自信を持って効果的に対処することができます。

また、ユニファイド・プロテクション・エンジンに支えられた WAAP ソリューションで、AI を活用し、最先端のアダプティブ WAAP 機能をご提供します。

新プラットフォームと強化された WAAP 機能のハイライト

1. プロアクティブ AI センtralエンジン

CDNetworks のクラウドセキュリティ 2.0 プラットフォームは、新しいプラットフォームアーキテクチャのコアとして、AI センtralエンジンを採用しています。このアーキテクチャは、攻撃前のビジネス分析、攻撃中の自動防御、継続的な対策を通じて、企業の適応的な保護能力を強化するために構築されています。これは具体的に、以下の 3 つの側面に整理できます。

まず、企業が Cloud Security 2.0 プラットフォームに接続すると、AI が自動的にドメインログを分析し、企業とそのデフォルトポリシーが適合しているかどうかを判断します。この分析から、プラットフォームは組織のビジネス環境に独自に適したルール設定と例外を提案します。

第二に、AI セントラル・エンジンは、現在および将来の適応防御戦略を計画する際に、AI 分析のためのベースラインを作成するため、ビジネスのオペレーションを学習・理解します。このベースラインは、AI が適切な適応防御戦略を分析するための基礎となります。DDoS 攻撃を例にとると、AI セントラルエンジンが Web サイトビジネスを脅かす可能性のあるアプリケーション層の DDoS 攻撃を検出すると、AI は攻撃の特徴に応じた適切な保護ルールを自動的に生成し、保護戦略をエッジに展開して継続的な適応防御を実現します。保護ベースラインがトリガーされない場合、保護検出が通常のユーザアクセスに影響を与えることはなく、攻撃シナリオ以外でのスムーズなユーザエクスペリエンスが保証されます。

第三に、機械学習技術を活用し、AI モデルを大規模に訓練・調整することで、隠れた脅威や検知困難な脅威に対する検知・対応能力を強化します。これを念頭に、CDNetworks の Bot インテリジェントリスク検知は、悪意のある Bot 攻撃を IP アドレスに応じて迅速に特定し、是正するよう特別に設計されています。ビジネストラフィックを継続的に分析し、複雑な/人間のようない/人間の不正なトラフィックの分析を補完することにより、Bot インテリジェントリスク検出は、常に変化する脅威モデルに基づいて動的な戦略を生成します。これらの戦略は、絶えず進化する脅威と闘い、組織のビジネス・セキュリティ態勢の強化を支援します。

2. 共有型脅威インテリジェント分析モデル

CDNetworks の AI セントラルエンジンの強力なアダプティブプロテクション能力に貢献する 2 つの重要な要素は、脅威インテリジェンスライブラリとシナリオベースの分析機能です。このため、CDNetworks プラットフォームは、ビッグデータ解析と機械学習のために毎日 30 億以上の攻撃サンプルを収集しています。これらのサンプルを使用して、プラットフォームは CDNetworks の顧客が利用できる貴重で実用的な脅威インテリジェンスデータを収集することができます。サードパーティのインテリジェンスに依存する従来のソリューションとは異なり、CDNetworks のクラウドセキュリティ 2.0 プラットフォームは、セルフソースのインテリジェンスにより、正確かつタイムリーな保護を提供します。

シナリオベースの保護機能をさらに強化するため、アップグレードされた WAAP ソリューションにはインテリジェンススコアリングメカニズムが組み込まれています。CDNetworks の長年にわたる業界とサイバー攻撃の経験を活用することで、システムはこの知識をエンジニアリング、関連分析、リスク分類機能に継続的に変換し、保護の精度を高め、防御を最新の状態に保ちます。この分析メカニズムにより、低頻度の L7 DDoS 攻撃や標的型 Bot 攻撃等、検出が困難な攻撃を特定する能力が大幅に向上します。

3. 統一された保護エンジンと直感的なコンソールポータル

新しくリリースされた CDNetworks のクラウドセキュリティ 2.0 プラットフォームは、統合型保護エンジンをサポートしています。このエンジンは、5 つの一般的なモジュール（インテリジェンス、ホワイトリスト、Geo/IP/Region Blocking、レートリミット、カスタムルール）と 4 つのシナリオベースの保護モジュール（DDoS 保護、ボット管理、API セキュリティ、WAF）を調整することで、複雑な攻撃シナリオに直面する企業に包括的で効率的な保護を提供します。このダブルパンチは、直感的で使いやすいプラットフォームで、他の追随を許さない数々の機能を提供します。例えば、組織は、統一ポリシーを設定したり、適切なドメインの下で設定を再利用するだけで、ビジネスに包括的な保護を導入することができます。

CDNetworks のクラウドセキュリティ 2.0 プラットフォームは、複雑な攻撃に直面している企業のセキュリティ態勢について明確な洞察を提供するために、さまざまな攻撃の次元をカバーするさまざまなウェブサイドのトラフィックとログを統合する統一されたダッシュボードページをご提供します。これにより、

突発的な攻撃に対する迅速な分析と対応が容易になります。さらに、組織は標準的な API インタフェースを活用して既存のオリジン保護システムと接続することができ、既存のセキュリティ運用と連携して同期データやポリシー管理を行うことができます。



[CDNetworks Japan について]

CDNetworks Japan は、シンガポールに本社を置く CDNetworks の日本法人です。業界における先駆的な CDN、エッジコンピューティング、クラウドセキュリティプロバイダとして、あらゆる通信・配信のパフォーマンス向上をトータルサポートしています。独自開発の高い技術力、柔軟できめ細かいサービス力で、エンタープライズ/アドテック/ソフトウェア/e コマース/メディア/ゲームといった幅広い業界のお客様へ高品質なサービスをご提供しています。特に中国、ロシア、インド、東南アジア、中東、アフリカ、中南米等の市場においても自社拠点（PoP）によってグローバル配信をサポートする唯一の、アジア最大級のグローバル企業です。

詳しいソリューションとサービスについては <http://www.cdnetworks.com/ja/> をご覧ください。

[お問い合わせ先]

株式会社シーディーネットワークス・ジャパン

営業本部マーケティング部 塩川、竹村

info@cdnetworks.co.jp